

11月の植物

キチジョウソウ 吉祥草 (キジカクシ科)

学名 : *Reineckea carnea* (Andrews) Kunth

山中に植物観察に行くと大きな群落によく出会う。ヤブランかと思うと少し違う。同行の先輩からキチジョウソウと教えていただいた。開花時期でないのかいつも花を見ることはできなかった。大分県の道の駅に花が咲いた売り物があつたので購入した。初めて見る花に感動したので、県内でも花を見たいと思い探し回ったが、なかなか出会うことはなかった。昨年、運良く1株だけ花が咲いた株を葉をかき分けて探し見つけた。ヤブランのように花柄は伸びず、葉の中にひっそりと花が咲くので目につきにくいのだと思った。

キチジョウソウは林下に生える多年草で葉は30cmほど、細長く、厚い革質で光沢がある。ランナーで増殖し群落をつくる。10月から11月頃、10-20cmの太い花茎に花をつける。花は無柄で、花弁は合着し皿形になり裂片はに反り返り、果実(写真左下)は液果で種が1個ある。分布は関東から四国、九州、中国で、佐賀県では西部、南部の山中に散在する。吉祥は「よい前兆」の意味で、吉事があると花が咲くの言い伝えから「吉祥草」の名がついた。

文責：井手義信



2021.11.4 竜門峡 (有田町)

参考文献

「日本維管束植物目録 (北隆館)」「日本の野生植物 I (平凡社)」、「野草の名前 (山と溪谷社)」